

FIRSTEG

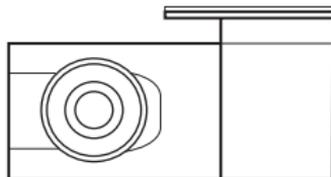
2カメラ・ドライブレコーダー

FT-DR120W

1カメラ・ドライブレコーダー

FT-DR120

取扱説明書



リアカメラは FT-DR120W
のみ同梱

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管していただき、その都度ご参照ください。

本体の電源は DC5V です。
必ず、付属のカー電源コードを使用してください。

目次

必ずお読みください

安全についてのお願い・ご注意	3
免責について	4
個人情報の保護について	4
バックアップ電源について	5
microSD/SDHCカードに関するご注意	5
LED式信号機について	6
パソコンで映像の再生をする場合の動作環境	6
もしも事故が起きてしまったら	6

準備する

同梱品を確かめる	7
各部の名称	8
はじめにすること	10
1. SDカードを挿入する	10
2. 本体の電源を入れて内蔵電池を充電する	11
3. SDカードをフォーマットする	12
4. 日時を合せる	14
車へ取り付ける	16
1. フロントカメラ部の取り付け	17
2. リアカメラ部の取り付け	20
3. ボタン操作によるフロントカメラ/リアカメラの切り替え方法	21

撮る

録画を開始する	22
1. 常時録画	24
2. イベント録画 (Gセンサー / 手動)	24
録画を停止する	25
初期化 (リセット) について	25
静止画を撮る	26

見る

本体で見る	27
再生ファイルについて	28
再生の停止	28
再生の終了	29
録画の開始	29
ファイルの削除	30
パソコンで見る (SDカード)	31
パソコンで見る (USBケーブル)	33

各種設定

記録時間の目安

本体ソフトウェアのアップデート

故障かな?と思ったら

主な仕様

保証規定 / 保証書

裏表紙

必ずお読みください

安全についてのお願い・ご注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい使い方と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

- | | |
|---|---|
|  警告 | この表示の欄を守らないと火災・感電及びその他の危険により死亡や大けがの原因となります。 |
|  注意 | 注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。 |

警告

- | | | | |
|--|---|---|--|
|  | ■ 運転の妨げにならない場所に取り付ける
本機は、運転の妨げにならないように、取り付けてください。また、取り付ける際に、本機が落下しないように十分ご注意ください。万が一落下した場合でも、運転の支障にならない場所をお選びください。 |  | ■ ケースは絶対にあけないでください
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えずと故障や感電の原因となります。 |
|  | ■ 電源コードを傷つけない
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。 |  | ■ 内部に異物を入れない
内部に異物が入ると火災や感電の原因となります。 |
|  | ■ 本機を濡らさない
水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因となります。 |  | ■ 異常があるときはすぐ使用をやめる
発熱、発煙、異臭を感じた時は、直ちに使用を中止して、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。そのまま使用されますと火災や感電の原因になります。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。 |
|  | ■ 車を運転中に本機を操作しない
車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。 | | |

必ずお読みください

⚠ 注意



■衝撃や強い振動を加えない

使用している部品が壊れ故障の原因になります。



■使用温度範囲内でご使用する

本機の温度保証範囲 (P.41) 以外で使用するると内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。特に夏期や直射日光に当たると予想以上に高温になりますので十分ご注意ください。



■高温時の取り扱いに注意する

本機に直射日光が当たっている状態など本機がかなり高温になっているときがありますので触れる際には、十分にご注意ください。



■お手入れの際、電源プラグを抜く

お手入れの際はかならず本機の電源を切り、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。また、お手入れには柔らかい布またはティッシュペーパーを使用し、シンナー、ベンジン、アルコール類を使用しないでください。使用するとケースが変形するおそれがあります。



■日本国内で使用する

本機の仕様は日本国内向けとなっています。



■取り付け場所を十分に考慮する (P.16)

免責について

■免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

1. 本商品に関連して直接または間接に発生した損害・被害、または結果的損害・被害
2. お客様の誤使用や不注意による本製品の障害または破損など
3. お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
4. お客様による映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
5. 記録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

個人情報の保護について

■個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された映像で個人が特定できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

バックアップ電源について

●スーパーキャパシタ

衝撃によってシガー電源が切れた時でも、内蔵のバックアップ電源で録画中のファイルを正常に保存します。バックアップ電源は耐久性に優れたスーパーキャパシタを採用。

●時計用バックアップ充電電池

初めて使用する場合や長期間にわたり使用されなかった場合、本体に内蔵の充電電池を充電してください。(20分程度) 充電しても日時が初期値に戻ってしまう場合は内蔵充電電池の寿命です。

※保証期間終了後の内蔵充電電池の交換は有料です。

※内蔵充電電池の寿命は使用環境によって変化します。

microSD/SDHC カードに関するご注意

本説明書では、特にことわりがない場合、「microSD/SDHC カード」を「SD カード」と表記させていただきます。

※ SD カードは消耗品です。

SD カードは書き換え回数に上限があり、書き替えて繰り返すことで正常に保存ができなくなり、データを破損して読み込みもできなくなります。

※ SD カードは消耗品につき初期故障（使用開始後 10 日間）のみ保証します。

※本機以外で使用した SD カードを初めて使用する場合は、必ず SD アソシエーションの SD フォーマッターでフォーマットを行ってください。(P.6 参照)

但し、SD カードによってはフォーマットを行ってもエラーが出る場合がありますが、弊社では一切の責任を負いません。

重要!

SD カードは 1～2 週間を目安に定期的なフォーマットを実施してください。フォーマットを全くしないでご使用し、事故映像等が記録されない場合、弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※ SD カードが寿命を迎えている場合、または正常に記録されない場合の動作例

・SD カードが挿入されていても、“SD カードを挿入してください” “カードエラー / フォーマットしてください” と表示される場合。

フォーマットをしても異常が起る・フォーマットできないなどの症状が出た場合は、SD カードを交換してください。

SD カードの寿命は概ね 3 ヶ月から 1 年程度です。(ドライブレコーダーのご使用状況 (ご使用時間) により SD カードの寿命は変動します。この期間、また本製品の保証期間でカードの寿命を保証するものではありません)

また 1 年を経過したものはたとえ問題が無くても交換されることをお勧めします。

必ずお読みください

フォーマットの方法

●パソコンをお持ちの方

SD カードをパソコンで読み取れるかどうか・動画の再生ができるかどうかを確認しフォーマットを行ってください。SD カードのフォーマットは、SD アソシエーションのウェブサイトから SD フォーマッターをダウンロード・インストールして行ってください。

●パソコンをお持ちでない方

ドライブレコーダーの再生モードで記録した映像を再生して問題が無いことを確認してください。その後、本体のメニューにフォーマットの項目がありますので、フォーマットを行ってください。(P.12、P.37 参照)

LED 式信号機について

ドライブレコーダーの録画映像で LED 式信号機が点滅したり、消灯しているように見える場合があります。LED 式信号機は高速で点滅しているため、カメラの撮影タイミングと、LED の消灯タイミングが同調したことで起こります。

パソコンで映像の再生をする場合の動作環境

- ・ Windows Vista/7/8/10 (32/64bit) がインストールされたパソコン。
- ・ AVI(MJPEG) 形式に対応した再生ソフト (再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません)
- ・ USB2.0 インターフェースもしくは microSD/SDHC カードリーダーを備えていること。
- ・ それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

もしも事故が起きてしまったら・・・

記録を停止しない限り、撮影を続けるため事故時の映像が上書きされてしまう場合があります。必ず撮影を停止し、本機から SD カードを取り出してケースなどで保護して保管してください。

準備する

同梱品を確かめる

お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。
内容をご確認ください。



フロントカメラ (1 台)



フロントカメラ用取付ステー (1 個)
※両面テープ付



リアカメラ〈コード長約 5.9 m〉 (1 台)
※両面テープ付 FT-DR120 は同梱さ
れていません。



USB 接続ケーブル (1 本)



カー電源コード〈約 3.4m〉
(1 本)



取扱説明書〈本冊子〉
保証書付 (1 冊)

別売品

直結配線ケーブル : DC-4B5VL(L) (L 型左出しタイプ)
車両のシガーソケットから電源を供給できない場合
に、直接車両の配線から電源を供給できます。



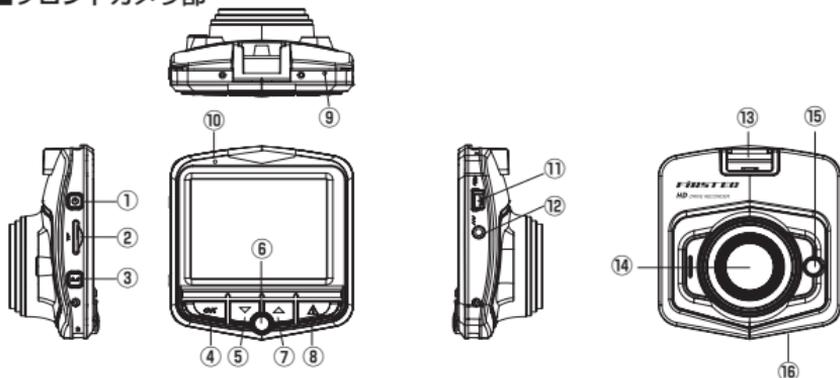
8GB microSDHC カード (1 枚)

※本文のイラストはイメージです。実際と異なる
場合があります。

準備する

各部の名称

■フロントカメラ部



① 電源ボタン

2秒以上の長押しで電源 OFF。短押しで電源 ON、電源 ON 時短押しする度に液晶画面が ON/OFF します。

② microSD/SDHC カード挿入部

microSD/SDHC カードを挿入します。

③ モードボタン (M)

動画モード / 静止画モード / 再生モードの切替。

④ OK ボタン

録画の停止 / 開始。静止画の撮影。再生の開始 / 停止。
2秒以上の長押しをする度に、赤外線照射の ON/OFF 設定。

⑤ ダウンボタン (▼)

動画 / 静止画モード時、押す度にフロントカメラ、リアカメラの画面切替 (FT-DR120W のみ P.21 参照)。設定時の設定内容の選択をします。

⑥ メニューボタン

設定画面の ON/OFF

⑦ アップボタン (▲)

設定内容の選択をします。静止画モードで押す度に、赤外線 LED 照射の ON/OFF 設定。動画モードで押す度に、音声録音の ON/OFF 設定。

⑧ ロックファイルボタン

録画中、短押しで手動ロックファイル生成。

⑨ リセットホール

本製品が正常に動作しない場合やフリーズした場合に初期化をします。

⑩ 電源ランプ

電源 ON 時点灯

⑪電源 (miniUSB) 端子

電源入力は DC5V です。必ず付属のカー電源コードを接続してください。
USB ケーブルにてパソコンと接続することで、SD カードリーダーとして動作します。

⑫リアカメラ接続端子

リアカメラを接続します。※ FT-DR120 は使用しません

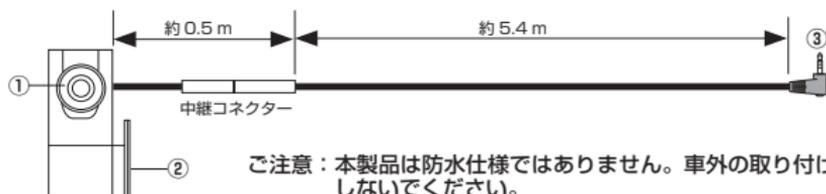
⑬取付けステー装着部

⑭カメラレンズ

⑮赤外線 LED

⑯マイク

■リアカメラ部 (FT-DR120W のみ)



① カメラレンズ

② 取付ステー部 (両面テープ付)

③ 接続プラグ

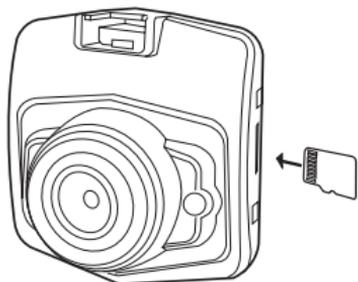
フロントカメラへ接続します。

準備する

はじめにすること

1. SD カードを挿入する

フロントカメラ部の SD カード装着部に SD カードの接点面をレンズ側にして“カチッ”と音がするまで挿入します。必ずカードの向きに注意し無理に入れないでください。また、カードを抜く場合にも同様に“カチッ”と音がするまで押してから引き抜いてください。



重要!

⚠ 注意

- SD カードを抜く場合は本機の電源が切れていること、または録画が停止していることを確認してから行ってください。SD カード破損の原因となることがあります。
- SD カードは消耗品です。ドライブレコーダでご使用の場合耐用年数は3ヶ月から1年です。3ヶ月から1年毎に新しいmicroSDHCカードと交換することをお勧めします。
- SD カードは書き換え回数に上限があり、書き替えを繰り返すことで正常に保存ができなくなり、データを破損して読み込みもできなくなります。1～2週間を目安に本体またはパソコンでフォーマットを行ってください。
- 同梱以外のSDカードを使用する場合も必ずフォーマットをしてください。また、SDカードメーカーによっては性能を発揮できない場合がありますので、あらかじめテスト撮影を行ってください。(推奨 microSDHC カード: 4GB ~ 32GB の Class10 以上)
- 小さなお子様のいらっしゃるご家庭では手の届かないところで保管してください。

2. 本体の電源を入れて内蔵電池を充電する

初めて使用する場合や長期間にわたり使用されない場合、本体内蔵の充電電池をお車や USB ケーブルをパソコンや USB 電源に接続して 20 分程度充電してください。充電しても日時が初期値に戻ってしまう場合は内蔵充電電池の寿命です。

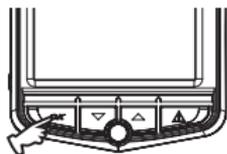
※保証期間終了後の内蔵充電電池の交換は有料です。

※内蔵充電電池の寿命は使用環境によって変化します。

■車で充電する

1. SD カードを挿入する
2. 付属のカー電源コードで本体と車のシガーソケットを接続する (P.19 参照)
3. 車のエンジンをかける

自動的に電源が入り充電が行われます。録画が自動的に始まるので、録画の必要がない場合は、“OK” ボタンを押すと録画が停止します。再度、押すと録画を開始します。



※録画中は録画カウンターが赤でカウントを始めます。



■パソコン等の USB で充電する

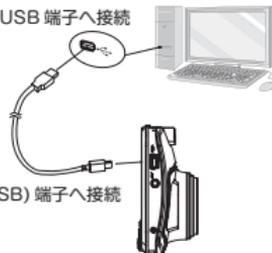
1. SD カードを挿入する
2. 付属の USB 接続ケーブルで本体とパソコンを接続する

下記画面が表示されます。

“▽” “△” ボタンで充電モードを選択し、“OK” ボタンを押すと充電を開始します。



パソコンの USB 端子へ接続



本体の電源 (miniUSB) 端子へ接続

ご注意：リアカメラは接続しないでください。認識ができなくなります。

準備する

3. SD カードをフォーマットする

充電が完了したら、SD カードのフォーマットをします。

1. 録画が停止していることを確認する

録画中の場合は、“OK” ボタンを押して停止してください。

2. MENU ボタンを押して設定メニューを表示させる

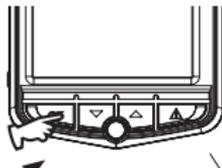


設定メニュー

⊖ 解像度	>
⊕ 写真の品質	>
⌘ ループ・レコーディング	>
人 モーション検知	>
★ ホワイトバランス	>

3. “▽” “△” ボタンで“フォーマット”を選択し、“OK” ボタンを押す

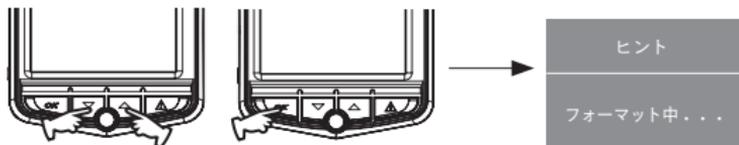
フォーマットの画面が表示されます。



⊖ 言語	>
⊕ 日時スタンプ記録	<input checked="" type="checkbox"/>
⊕ フォーマット	
Ⓜ デフォルト設定に戻す	
ℹ Ver 47C-10-I-2018309	

⊖ 言語	>
⊕ フォーマット	>
⊕ フォーマットしますか?	
OK	キャンセル
ℹ Ver 47C-10-I-2018309	

4. “▽” “△” ボタンで “OK” を選択し、本体の “OK” ボタンを押す



フォーマット中が表示され、消えればフォーマット完了です。

- ・設定メニュー画面に戻ります。

5. MENU ボタンを押して、終了する



6. 再度録画を開始する場合は、“OK” ボタンを押すか電源を入れ直してください

※ SD カードは定期的にフォーマットを行ってください。
フォーマットをしないと、正常に記録ができなくなる場合があります。
(P.5 参照)

準備する

4. 日時を合わせる

フォーマットが完了したら、日時を合わせます。

1. 録画が停止していることを確認する

録画中の場合は、“OK” ボタンを押して停止してください。

2. MENU ボタンを押して設定メニューを表示させる

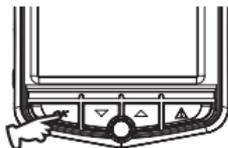


設定メニュー

設定メニュー	
解像度	>
写真の品質	>
ループ・レコーディング	>
モーション検知	>
ホワイトバランス	>

3. “▽” “△” ボタンで“日時”を選択し、“OK”ボタンを押す

日時設定画面になります。



設定メニュー	
日時	
言語	>
日時スタンプ記録	<input checked="" type="checkbox"/>
フォーマット	
デフォルト設定に戻す	

日時	
2018	年 04 月 01 日
12	時 34 分 56 秒
デフォルト設定に戻す	

4. 年を“▽”“△”ボタンで合わせたら、“OK”ボタンで項目を移動させる



5. 同様に月、日、時刻を設定し、最後に“OK”ボタンを押し設定を確認させる

・設定メニュー画面に戻ります。

6. **MENU** ボタンを押して、終了する

※正しく設定されているか日時表示を確認してください。



7. 再度録画を開始する場合は、“OK”ボタンを押すか電源を入れ直してください

準備する

車へ取り付ける

お願い

■正式に取り付ける前に仮止め、仮設置をし基本動作や配線が正常にできることを確認してください。また、車の電装品が正常に動作することも確認してください。

取り付け上のご注意

本製品は道路運送車両法・保安基準第29条の前面ガラス装着規制対象外です。但し、設置場所はフロントウィンドウの開口部上端から下方向に1/5以内の場所に限りませず。装着後運転の邪魔にならないか、ルームミラーの操作の妨げにならないか等十分に確認してから使用してください。リアカメラ部は取り付け場所に制限はありませんが、必ず車内に取り付けしてください。

■車を平らで安全な場所に駐車して作業をしてください。

■配線後のコードが運転の支障にならないように固定してください。

■道路運送車両法・保安基準に適合するように、フロントガラスに取り付けてください。

■取り付け位置はフロントウィンドウの開口部上端から上下方向に1/5以内の場所、もしくは運転席側から見てルームミラーに隠れる場所に取り付けをしてください。

■レンズ部分がワイパーでふき取れる部分になる位置にくるよう取り付けください。

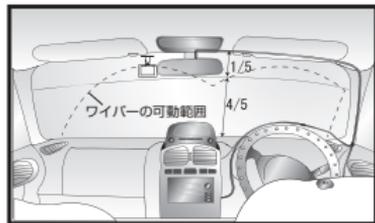
■点検シールや車検標章などと重ならないようにしてください。

■ステーを取り付ける際、接着面の汚れや湿気をよく取り除いてから行ってください。

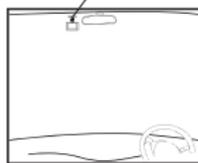
■あらかじめモニターで撮影範囲を確認の上、取り付けしてください。

■ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。

■前方がしっかりと見える場所に取り付けてください。



中心より少し左側



水平より少し下向き



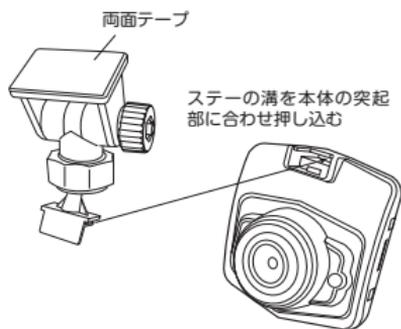
<トラックの場合の取り付け参考例>

△注意

カーナビゲーション、ETC、地デジチューナーやそれらのアンテナなど電波を受信する機器から離して取り付けてください。

1. フロントカメラ部の取り付け

1. フロントカメラ部の取付けステー装着部の突起部にステーの溝を合わせ押し込む



2. 両面テープのはくり紙を剥がす

3. 車両の中央部から助手席側の運転に邪魔にならない場所をあらかじめ確認して、レンズを進行方向に向けてフロントガラスに取り付ける

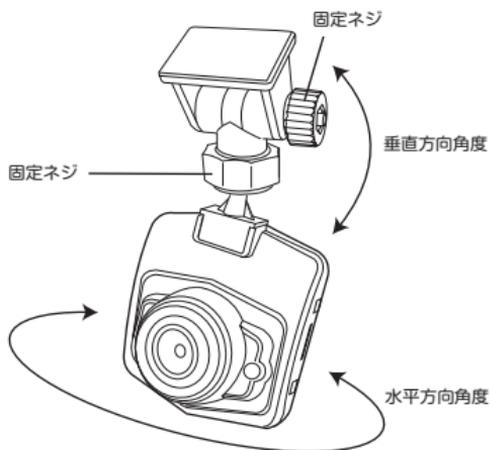
フロントガラス



準備する

4. 水平方向、垂直方向の角度を合わせる

角度を合わせたら、2箇所の固定ネジでしっかりと固定します。



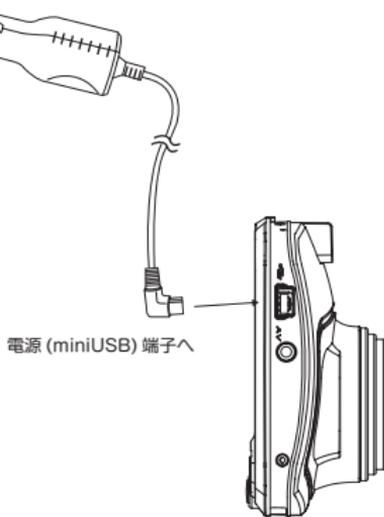
5. 付属のカー電源コードのプラグを本体の電源 (miniUSB) 端子に差し込みます。

車のシガーライターソケット
へ接続

6. カー電源コードの電源プラグを車のシガーライターソケットに差し込みます。

※電源コードは、運転の支障にならないように配線処理をしてください。

電源 (miniUSB) 端子へ



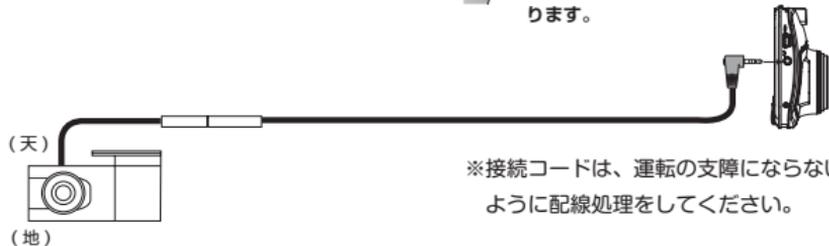
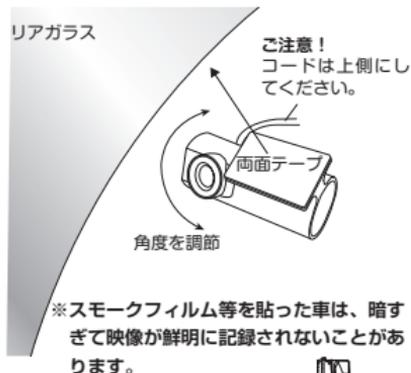
⚠注意

- シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますので、よく掃除をしてから取り付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。また、付属のカー電源コードを切断して車両配線と直結しないでください。車両配線と直結する場合は、別売の直結配線ケーブル DC-4B5VL(L)をお買い求めください。

準備する

2. リアカメラ部の取り付け (FT-DR120Wのみ)

1. リアカメラの取付ステー部の両面テープのはくり紙を剥がし、車内のリアガラスに貼ります
2. レンズ部を回して角度を調節します。
360度回転できます。
3. 接続プラグをフロントカメラ部のリアカメラ接続端子に挿入します



取り付けイメージ



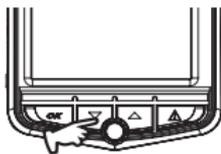
リアカメラの映像

フロントカメラの映像

3. ボタン操作によるフロントカメラ / リアカメラの切り替え方法 (FT-DR120W のみ)

ボタン操作でフロントカメラとリアカメラの表示を切り替えることができます。

動画 / 静止画モード時に “▽” ボタンを押す度に切り替わります。



2画面 (サブ表示: リアカメラ)



2画面 (サブ表示: フロントカメラ)



2分割画面



1画面 (フロントカメラ)



1画面 (リアカメラ)

撮る

録画を開始する

1. SD カードを挿入し、車のエンジンをかける

外部からの電源が供給されると、自動的に電源が入り録画が開始されます。

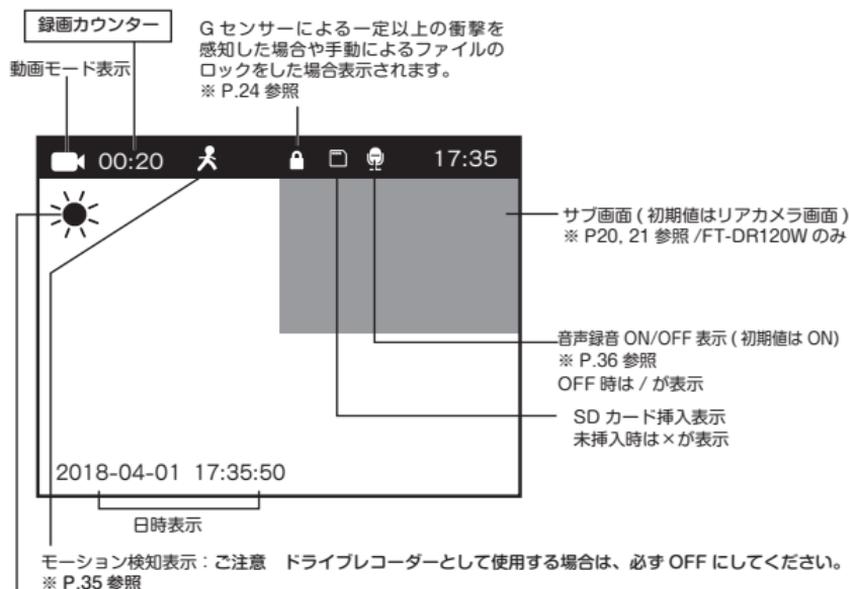
※自動記録開始の設定が OFF の場合は“OK” ボタンを押してください。(P.36 参照)

※録画が開始されるまでに少し時間がかかります。(約 10 秒)この間に SD カードを抜いたり、電源を切ると録画は保存されません。

録画が開始されると、画面左上の録画カウンターが赤でカウントを始めます。

※ SD カードを挿入しないで電源を入れると録画は開始しません。“SD カードを挿入してください” のメッセージが表示されます。SD カードを挿入すると録画を開始します。

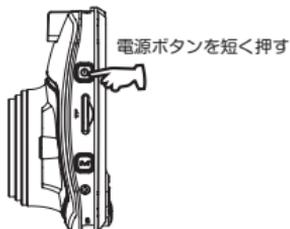
録画面面



赤外線照射表示 (初期値は OFF、ON でアイコンが ★ に変わります) ※ P.23 参照

●スクリーンセーバー

電源 ON 時に電源ボタンを短く押すと、液晶画面が消えます。(スクリーンセーバー) 再度、電源ボタンを短く押すか何れかのボタンを短く押すと液晶画面が表示されます。



※設定画面でもスクリーンセーバーの ON/OFF ができます。(P.36 参照)

●ループレコーディング (録画繰り返し時間)

1 つの録画ファイルの時間を設定できます。(2分 / 3分 / 5分) 設定した時間ごとにファイルが生成され保存されます。初期値は 2 分です。

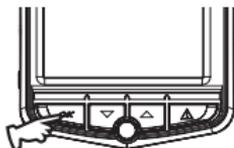
※ P. 35 参照

●赤外線 LED 照射について

動画 / 静止画モード中に“OK” ボタンを 2 秒以上押す度に、赤外線照射の ON/OFF 設定ができます。

赤外線照射表示のアイコンが変わります。

OFF で ☀️ ON で ★ が表示されます。



2 秒以上押す

※赤外線照射距離は 1 ~ 1.5 m 程度です。
ドライブレコーダーとして使用する場合は
ヘッドライトの明るさで撮影するので OFF
で使用してください。車内撮影をする場合
使用してください。

撮る

1. 常時録画

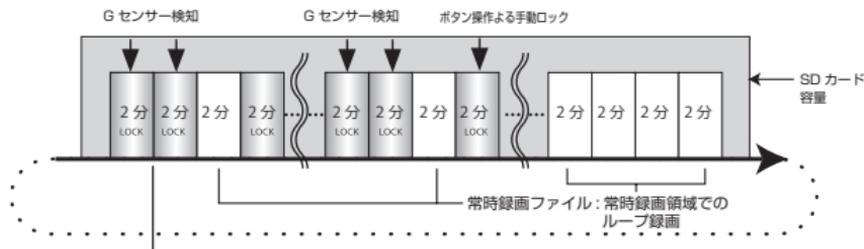
常時録画は録画繰り返し時間ごとにファイルを作成し、連続撮影をします。ファイルがいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。

2. イベント録画 (G センサー / 手動)

G センサーの検知またはロックファイルボタン操作をすると、現在録画中のファイルをロックして、ロックファイルとして保護します。G センサーの感度設定は“各種設定の” G-SENSOR(P.37) で設定できます。常時録画ファイルとロックファイルが混在して生成されると、最終的に SD カード容量の約 60% が上書きされないロックファイルとして保存されます。ロックファイル保存領域を超えるとロックファイル領域内で古いファイルを削除して、上書き保存されます。



常時録画ファイルとロックファイルの混在で録画した場合 (繰り返し時間 2 分)



※保護できるロックファイルの最大は SD カード容量の約 60% までです。(ロックファイル領域)

50% を超えると警告表示 (ロックファイルが 50% を超えました) が出ます。60% を超えた場合は領域の古いファイルから上書き保存されます。(ロックファイル領域でのループ録画)

※ FT-DR120W は 1 つのファイルにフロントカメラ、リアカメラの映像が対になって記録されます。

重要!

ロックファイルの領域（約60%）を超えた場合は、古いロックファイルから上書き保存されます。上書きされないようにするには、パソコン等に保存しておくことをおすすめします。

△注意

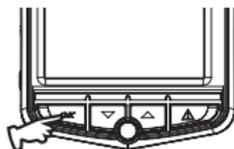
- 大切なデータがある場合はパソコンなどにあらかじめ保存してください。

録画を停止する

1. “OK” ボタンを押す

エンジンを切るか、“OK” ボタンを押すと録画が停止します。

“OK” ボタンで録画を停止した場合は、再度、“OK” ボタンを押すと録画を開始します。

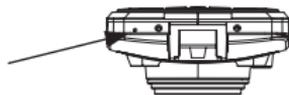


初期化（リセット）について

本機が正常に動作しない場合やフリーズした場合には初期化を行います。本体上面のリセットホールのリセットスイッチをクリップの先などで押してください。

リセットをすると、正しく電源が再起動されます。

初期化を行っても問題が解決されない場合は、SD カードを抜いて再度リセットをして確認します。SD カードを抜いて正常に動作する場合はパソコンなどで SD カードをフォーマットしてください。

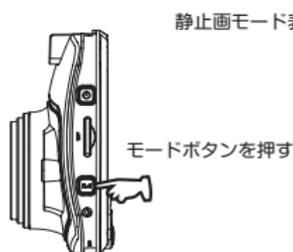
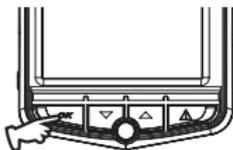


撮る

静止画を撮る

1. “OK” ボタンを押して録画を停止する
録画中は、“OK” ボタンを押して録画を停止します。

2. “M” モードボタンを押して静止画モードにする
モードボタンを押す度に、動画モード / 静止画モード / 再生モードに切り替わります。

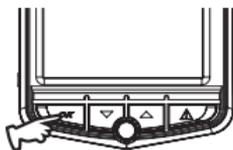


静止画モード表示

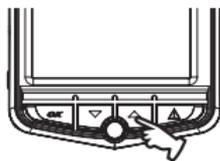
モードボタンを押す



3. “OK” ボタンを押すと静止画を撮影します
“OK” ボタンを押して撮影をします。
この時、シャッター音が鳴ります。



静止画モード時、“△” ボタンを押す度に、
赤外線照射の ON/OFF を設定できます。
OFF で ☀️ ON で 🌙 が表示され
ます。



見る

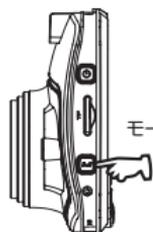
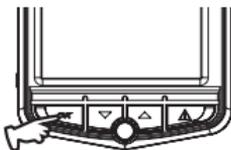
本体で見る

1. “OK” ボタンを押して録画を停止する

録画中は、“OK” ボタンを押して録画を停止します。

2. “M” モードボタンを押して再生モードにする

モードボタンを押す度に、動画モード / 静止画モード / 再生モードに切り替わります。



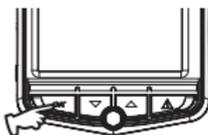
モードボタンを押す

再生モード表示



3. 再生したいファイルを“▽”“△”ボタンで選択し、“OK”ボタンを押す

選択されているファイル



再生進捗バー

選択ファイルの時間

再生中画面▶



常時録画ファイルとイベント録画ファイルは“OK” ボタンを押すと再生を開始します。

再生を一時停止するときは、“OK” ボタンを押してください。(⏸マークが表示されます)

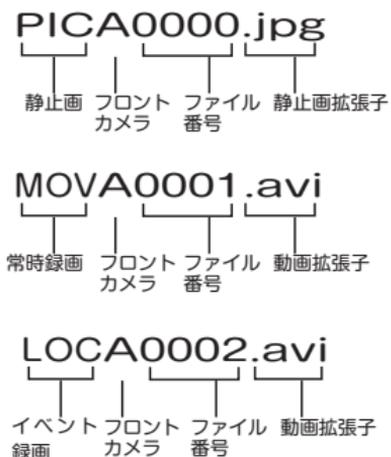
一時停止状態で、再度“OK” ボタンを押すと再生を開始します。

見る

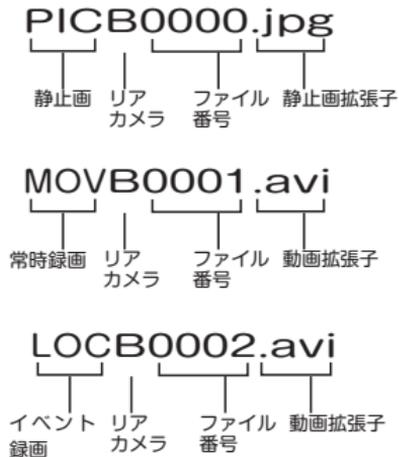
●再生ファイルについて

映像、画像を記録すると、下記ファイル名で保存されます。

・フロントカメラ部のファイル



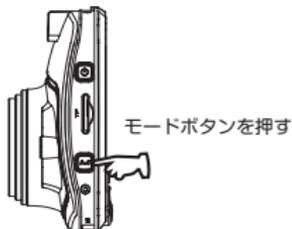
・リアカメラ部のファイル (FT-DR120W のみ)



※モーション検知録画のファイル形式はイベント録画と同じです。(P.35 参照)

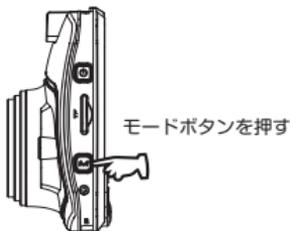
●再生の停止

再生中に“M”モードボタンを押すと再生を停止し、再生モード画面に戻ります。



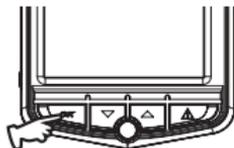
●再生の終了

再生モード画面で“M”モードボタンを押して、動画モードまたは静止画モードにします。



●録画の開始

動画モードで再度、録画を開始する場合は、“OK” ボタンを押してください。



※電源を入れ直しても録画を開始します。(自動記録開始が ON の場合、初期値は ON)

見る

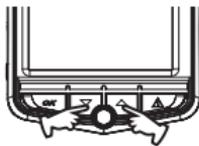
●ファイルの削除

本体で不要なファイルを削除することができます。パソコンでも削除は可能です。

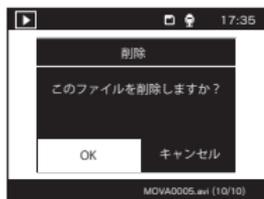
1. 再生モード画面で削除したいファイルを選択し、**MENU** ボタンを押す



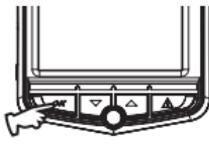
↑
選択されている
ファイル



2. 削除の画面が表示されます



3. “▽” “△” ボタンでOKを選択し、“OK” ボタンを押す



選択したファイルが削除され
再生モード画面に戻ります。

ご注意：イベント録画のロックファイルは削除できません。
パソコンで削除するか、フォーマットを行ってください。
但し、フォーマットを行うと全てのファイルが消去されます。

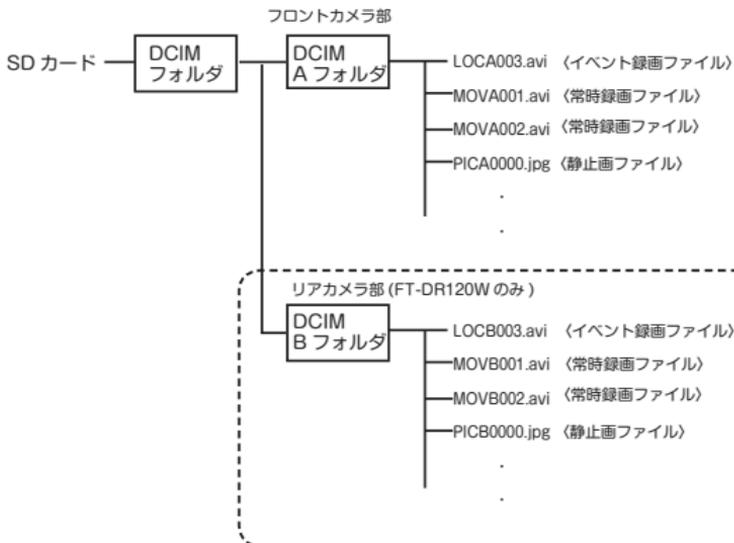
パソコンで見る (SD カード)

パソコンの動作環境

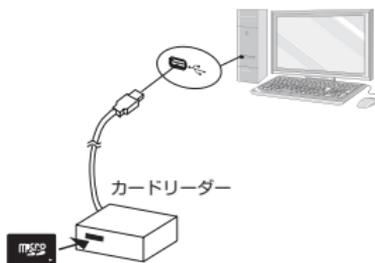
- ・ Windows Vista/7/8/10 (32/64bit) がインストールされたパソコン。
- ・ Windows Media Player 等の AVI 再生ソフトがインストールされていること。
(再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません)
- ・ USB2.0 インターフェースもしくは microSD/SDHC カードリーダーを備えていること。
- ・ それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

フォルダ構成

映像が記録されている SD カード内のフォルダとファイルの構成は下記のとおりです。



1. カードリーダーをパソコンに接続する



2. SD カードをカードリーダーに挿入する

3. “DCIM” フォルダがあるリムーバブルディスクを開く

4. “DCIM” フォルダを開く

“DCIMA” “DCIMB” フォルダが表示されます。

※ FT-DR120 は “DCIMA” のみ表示



※ microSD/SDHC を直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーは必要ありません。

5. “DCIMA” または “DCIMB” フォルダを開く

記録ファイルが表示されます。

※動画ファイルを開くと Windows Media Player 等の動画再生ソフトが立ち上がり動画の再生が始まります。



パソコンで見る (USB ケーブル)

1. 本体に SD カードを挿入する
2. 付属の USB 接続ケーブルで本体とパソコンを接続する

自動的に電源が入り下記画面が表示されます。

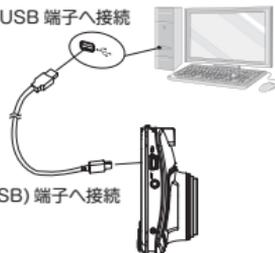


3. “▽” “△” ボタンで “USB ストレージを開く” を選択し、“OK” ボタンを押す

パソコンにリムーバブルディスクとして認識されます。

4. SD カードと同様に “DCIM” フォルダがあるリムーバブルディスクを開いてファイルを再生する

パソコンの USB 端子へ接続



本体の電源 (miniUSB) 端子へ接続

ご注意：リアカメラは接続しないでください。
認識ができなくなります。



各種設定

録画中の場合は、“OK” ボタンを押して録画を停止してください。

設定手順

1. 動画モードまたは静止画モードになっていることを確認する

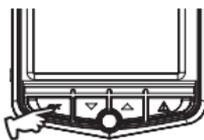


2. **MENU** ボタンを押して設定メニューを表示させる



17:35	
解像度	>
写真の品質	>
ループ・レコーディング	>
モーション検知	>
ホワイトバランス	>

3. “▽” “△” ボタンを押し、設定したい項目を選択して“OK” ボタンを押す



※チェック窓がある項目は、ここで“OK” ボタンを押してチェックの ON/OFF を設定します。

4. “▽” “△” ボタンを押し、お好みの設定を選択して“OK” ボタンを押して確定させる

※確定後は、設定メニューに戻ります。終了する場合は“MENU” ボタンを押します。
※録画を開始する場合は、モードボタンで動画モードにして、“OK” ボタンを押すと録画を開始します。

■設定メニューの項目

解像度を設定

解像度 (動画)

フロントカメラの録画する画像の解像度を設定します。
解像度を上げると録画時間が短くなり、下げると長くなります。

HD (1280 x 720)	標準 (初期設定)
FHD ※ (1920 x 1080)	高解像度

※ 100万画素 CMOS センサーによる記録です。

静止画の解像度

写真の品質 (静止画)

静止画の解像度を選択します。

1M	1280 x 960
3M	2048 x 1536(初期設定)
5M	2592 x 1944
10M	3648 x 2736

録画繰り返し時間の設定

ループ・レコーディング (動画)

一つの録画ファイルの時間を設定します。SDカードの容量がいっぱいになると、古いファイルから消されて新しいファイルが保存されます。

2分	(初期設定)
3分	
5分	

動きを検出して録画を開始する

モーション検知 (動画)

“OK” ボタンを押す度に、チェックの ON/OFF ができます。初期値は OFF

モーション検知



チェックを入れると画面上部にモーション検知のアイコン  が表示されます。

フロントカメラの映像内で輝度の変化を検出すると、記録を開始します。動作の検出が約 10 秒続けてなくなると自動的に録画が停止します。

※ 動体検知機能はカメラに写っている画像の中の動き (輝度の変化) を検出します。動くものがあつた時に自動的に録画を開始するものではありません。また、遠くのものなど画面に占める割合が少ない場合や動きが連続しない場合などには反応できない場合があります。

※ モーション検知はフロントカメラのみです。リアカメラは検知しません。但し、録画はリアカメラも行います。

※ モーション検知録画はイベント録画として保存されます。(ロックファイル)

※ ドライブレコーダーとして使用する場合はモーション検知機能は OFF にしてください。

駐車時等の監視として使用できます。

各種設定

自然な色合いにする

ホワイトバランス（動画 / 静止画）

白いものが白く映るように補正します。

自動（初期設定）/ 晴れた日 / くもりの日 / 白熱 / 蛍光発行

明るさの差を調整

コントラスト（動画）

設定値	0/1/2(初期値)/3/4/5
-----	------------------

画像を明るく・暗く

露出（動画）

設定値	-3 ~ 3(初期値は 0)
-----	----------------

電源 ON で自動録画を開始する

自動記録開始（動画）

電源が入ると自動的に記録を開始します。

“OK” ボタンを押す度に、チェックの ON/OFF ができます。初期値は ON

自動記録開始	<input checked="" type="checkbox"/>
--------	-------------------------------------



液晶表示を消す

スクリーンセーバー（動画 / 静止画）

一定時間経過すると液晶画面が消えます。

設定値	off(初期値)/1分/2分/3分
-----	-------------------

動作中に何れかのボタンを押すと表示されます。再び、設定時間になると消えます。

無操作が一定時間経過したら電源を切る

オートパワーオフ（動画 / 静止画）

ボタン等の無操作が一定時間経過すると電源を切ります。
録画中や再生中はオートパワーオフしません。

設定値	off(初期値)/1分/2分/3分
-----	-------------------

映像と同時に周囲の音を録音

録音（動画）

映像とともに音声や車の中の音を同時に記録するかどうかが選択できます。

初期値は ON

“OK” ボタンを押す度に、チェックの ON/OFF ができます。初期値は ON

録音	<input checked="" type="checkbox"/>
----	-------------------------------------



動画モード時、本体の“△” ボタンを押しても ON/OFF できます。

※音声録音はフロントカメラのみできません。

G センサーによる自動ロックファイル

G_SENSOR (動画)

G センサーによるロックファイル機能は、事故や衝突など一定以上の衝撃が加わると録画中のファイルが保護される機能です。G センサーの感度は3段階調整できます。

※ SD カードの容量の約 60%を超えると古いファイルから上書き保存されます。

※ 衝撃の度合いや方向によっては G センサー設定値より一定以下の場合、ロックがきかない場合があります。

設定値	off / 高 / 中 (初期値) / 低
-----	-----------------------

日付と時刻を設定する

日時 (動画 / 静止画)

映像に記録する日時の設定をします。
(P.14 参照)

言語を選択

言語 (動画 / 静止画)

メニューや警告などの表示言語を選択できます。

選択可能な言語は日本語 (初期値) と English (英語) です。

日付、時刻を記録する

日時スタンプ記録 (動画 / 静止画)

再生画像内に日付、時刻を表示するか選択できます。“OK” ボタンを押す度に、チェックの ON/OFF ができます。

初期値は ON

日時スタンプ記録	<input checked="" type="checkbox"/>
----------	-------------------------------------

SD カードを初期化する

フォーマット (動画 / 静止画)

SD カードの初期化を行います。SD カードを初期化すると、記録したデータ (ロックファイルを含みます) は全て消去されます。必要なデータはあらかじめパソコンなどに保存しておいてください。

OK を選択し、確定してください。
(P.12 参照)

OK	キャンセル
----	-------

設定をお買い上げ時に戻す

デフォルト設定に戻す (動画 / 静止画)

本製品の設定を工場出荷状態に戻します。

OK を選択し、確定してください。

OK	キャンセル
----	-------

ソフトウェアのバージョン情報

Ver (動画 / 静止画)

ソフトウェアのバージョン NO. を表示します。

記録時間の目安

■ FT-DR120W

フロントカメラ画面サイズ	HD 1280 × 720	FHD 1920 × 1080
SDカード容量		
4GB	15分	10分
8GB	30分	25分
16GB	60分	55分
32GB	120分	110分

※リアカメラ VGA 映像含む

※記録時間は目安であり、ご使用の環境、映像の内容等によって大きく変わります。

※記録解像度 FHD は 100 万画素 CMOS センサーによる記録です。

■ FT-DR120

画面サイズ	HD 1280 × 720	FHD 1920 × 1080
SDカード容量		
4GB	20分	15分
8GB	40分	35分
16GB	90分	75分
32GB	180分	150分

※記録時間は目安であり、ご使用の環境、映像の内容等によって大きく変わります。

※記録解像度 FHD は 100 万画素 CMOS センサーによる記録です。

本体ソフトウェアのアップデート

本体のソフトウェアがバージョンアップされた場合、弊社ホームページに掲載します。ソフトをダウンロードし、アップデートすることで最新のバージョンにすることができます。

※詳細はホームページを参照ください。

故障かな？と思ったら

電源が入らない

- カー電源コードが電源端子にしっかり接続されていない。
⇒カー電源コードを電源端子にしっかりと接続してください。
- カー電源コードが車のシガーライターソケットにしっかり接続されていない。
⇒カー電源コードを車のシガーライターソケットにしっかり接続してください。
- カー電源コード先端に入っているヒューズが切れている。
⇒新しいヒューズと交換してください。

映像が記録できない

- SDカードが挿入されていない。
⇒カードを本体に挿入してください。
- SDカードに異常があると映像記録ができなくなります。
⇒その場合はSDカードをフォーマットしてから本体に挿入してください。
※SDカードは1から2週間を目安にフォーマットをしてください。

映像が細切れで記録されている

- モーション検知がONになっていませんか？
⇒モーション検知をOFFにしてください。
→P.35 モーション検知

動画再生で映像が飛んだり、カクカクする

- SDカードのスピードクラスが足りていない。
⇒P.35 解像度の設定を下げるかSDカードを交換してください。

冬期電源を入れた直後画面が暗い

- 液晶画面の性質上、画面が温まるまでは暗い状態が続きます。

故障かな？と思ったら

画面にドット欠損
(輝点・滅点)がある

- 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られています。画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。

日時表示が違う

- 内蔵の充電式バッテリーが放電してしまっている。
⇒本体に電源が入った状態でしばらく充電してから日時を再設定してください。(P.11) 充電しても初期値に戻ってしまう場合は内蔵の充電式バッテリーの寿命ですので交換が必要になります。

操作を受け付けない

- SDカードが壊れている可能性があります。
⇒SDカードを抜いて動作をする場合には、SDカードが壊れている可能性があります。
- 内部コンピュータの異常
⇒リセットホールのリセットスイッチをクリップの先などで押してください。(P.25)

それでも
動かないときは

〒194-0037
東京都町田市木曾西 2-3-8
株式会社 エフ・アール・シー サービス課
TEL : 042-793-7746
土日祝日及び弊社休業日を除く
【10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00】

主な仕様

外形寸法	: フロントカメラ 約 65 (幅) × 71 (高さ) × 30 (奥行) mm リアカメラ 約 57 (幅) × 24 (高さ) × 27 (奥行) mm突起部除く
質量	: フロントカメラ 約 51 g (microSDHC カード含む) リアカメラ 約 25g 接続コード含まず
記録媒体	: microSDHC カード (8GB 付属) 4 ~ 32GB 対応 (Class10 以上)
撮像素子	: フロントカメラ 100 万画素 CMOS、リアカメラ 31 万画素 CMOS
レンズ画角	: フロントカメラ 水平 約 91 度 垂直 60 度 (125 度対角) リアカメラ 水平 約 70 度 垂直 57 度 (86 度対角)
最大記録画角	: フロントカメラ 水平 約 86 度 垂直 48 度 (100 度対角) リアカメラ 水平 約 70 度 垂直 52 度 (86 度対角)
記録解像度	: フロントカメラ (動画) 1280 × 720(HD) 1920 × 1080(FHD) リアカメラ (動画) 640 × 480(VGA) 静止画 1M/3M/5M/10M
GPS	: 無し
G センサー	: 有り (オフ / 低 / 中 / 高) 3 段階調整
記録方式	: 常時録画、イベント記録 (G センサー、手動)
録画ファイル構成	: 2 分 / 3 分 / 5 分
画面サイズ	: 2.4 インチ液晶モニター
音声	: ON/OFF 可能
フレームレート	: 30fps
映像ファイル形式	: 動画 AVI(MJPEG)、静止画 (JPEG)
記録映像再生方式	: Windows Media Player 等の AVI(MJPEG) 再生ソフト
電源電圧	: DC12/24V 本体 5V (カー電源コードで変換)
バックアップ電源	: スーパーキャパシタ方式 / ボタン充電電池 (時計用)
消費電流	: 最大約 200mA(DC12V フロントカメラ赤外線 ON 時)
動作温度範囲	: 0 ~ +60℃
商品保証期間	: 1 年間 (microSDHC カード等消耗品除く)
言語	: 日本語 / 英語
付属品	: フロントカメラ用取付けステー × 1、カー電源コード × 1 USB 接続ケーブル × 1、microSDHC カード (8GB) × 1 取扱説明書 × 1

※リアカメラは FT-DR120W のみ搭載。

※商品の仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

保証規定

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され合格したのですが、万一ご購入後 1 年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。

なお、次に記載した場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- ①使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障および損傷。
- ②ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
- ③火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用およびその他の天変地異などによる故障および損傷。
- ④本保証書のご提示がない場合。
- ⑤本保証書の所定事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

- 使用上修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。
- その際は問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現方法についてできるだけ詳しくお書きください。
- 必要なファイルは、必ずお客様にてバックアップをお取りください。お預かりしたデータの保証はいかなる場合でもできません。
- 保証は不具合が発生した製品を販売店にお持ちいただくか、弊社宛てに送付していただき、修理もしくは代品との交換によるセンドバック方式となります。
- 出張修理は行っていません。
- 保証の範囲は商品のみ保証となり、取り付けや取り付けにかかる費用の保証や商品を使用する事により発生した商品以外への損害についての保証は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 修理期間中の代替機の貸し出しは行っていません。

※あらかじめご承知いただきたいこと

- ・修理の時、一部代替品を使わせていただくことや修理品に変わって同等品と交換させていただくことがあります。
- ・出張による修理は一切致しませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本取扱説明書の内容は、機能改善のため予告なく変更する場合があります。

※ SD カード、両面テープは消耗品につき初期故障（使用開始後 10 日間）のみ保証します。

【サポート問い合わせ先】

株式会社 エフ・アール・シー サービス課

TEL：042-793-7746 土日・祝日及び弊社休業日を除く【10:00～12:00 13:00～17:00】



品質保証書

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され、それに合格したものです。万一、ご購入後 1 年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。

修理の際には、本製品をご購入いただいた販売店に、必ず本保証書をご持参の上ご依頼ください。本保証書のご提示のない場合には全額有償となりますので、本保証書は大切に保存してください。

■保証期間中は：

保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参いただくか、弊社宛てに症状をお書き添えの上送付願います。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは：

お買い求めの販売店、または弊社サービス課にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

商品名	ドライブレコーダー FT-DR120W/FT-DR120		
保証期間	1年間 (消耗品除く)	購入年月日	年 月 日
お客様	ご住所		
	TEL.		
	お名前		
販売店	住所		
	店名		
	(印)		

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

F.R.C. CO., LTD.

株式会社エフ・アール・シー

〒194-0037 東京都町田市木曾西 2-3-8
URL <http://www.frc-net.co.jp>



4-253-001